

書式1-①	事例報告書	受講番号		受講者名	
-------	--------------	------	--	------	--

性別		年齢		障害支援区分	
障害名・診断名				手帳の有無・等級	

福祉サービスの利用状況	
-------------	--

検討したいこと(相談支援専門員として支援の中で困っていること)

- 事例検討の目的をはっきりさせる**
- ・利用者の対応について検討したい
 - ・信頼関係の構築ができずに困っている
 - ・面接の進め方についてアドバイスが欲しい
 - ・自分の支援が間違っていないか確認したい
 - ・利用者(家族)へのかかわり方について検討したい
 - ・アセスメントの視点や支援に必要な情報が知りたい

主訴(利用者が相談に来た理由、どうしたいか)

- 主訴を出発点にして相談が始まる**
- ・福祉サービスを利用してもすぐに行かなくなってしまうので、どこか通えるところはないか
 - ・本人が度々暴れるなどの衝動的な行動が理解できない。何とか収まらないか。
 - ・外出するとなかなか帰ってこないのととても心配している。外出させない方法はないか

利用者の特徴

- 利用者のイメージを持つ**
- ・身長、体重(体格)
 - ・性格(表情豊かでよく話す、気弱で気持ちをなかなか言えない、些細なことでも腹を立て高圧的になる 等)
 - ・興味関心(お菓子が好き、よく出かける、テレビの〇〇を見る 等)

生活歴(どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどのエピソード)

- 利用者がどのような生活を送ってきたかを理解する**
- ・学齢期から現在(福祉サービス利用含む)までのエピソードを記入する

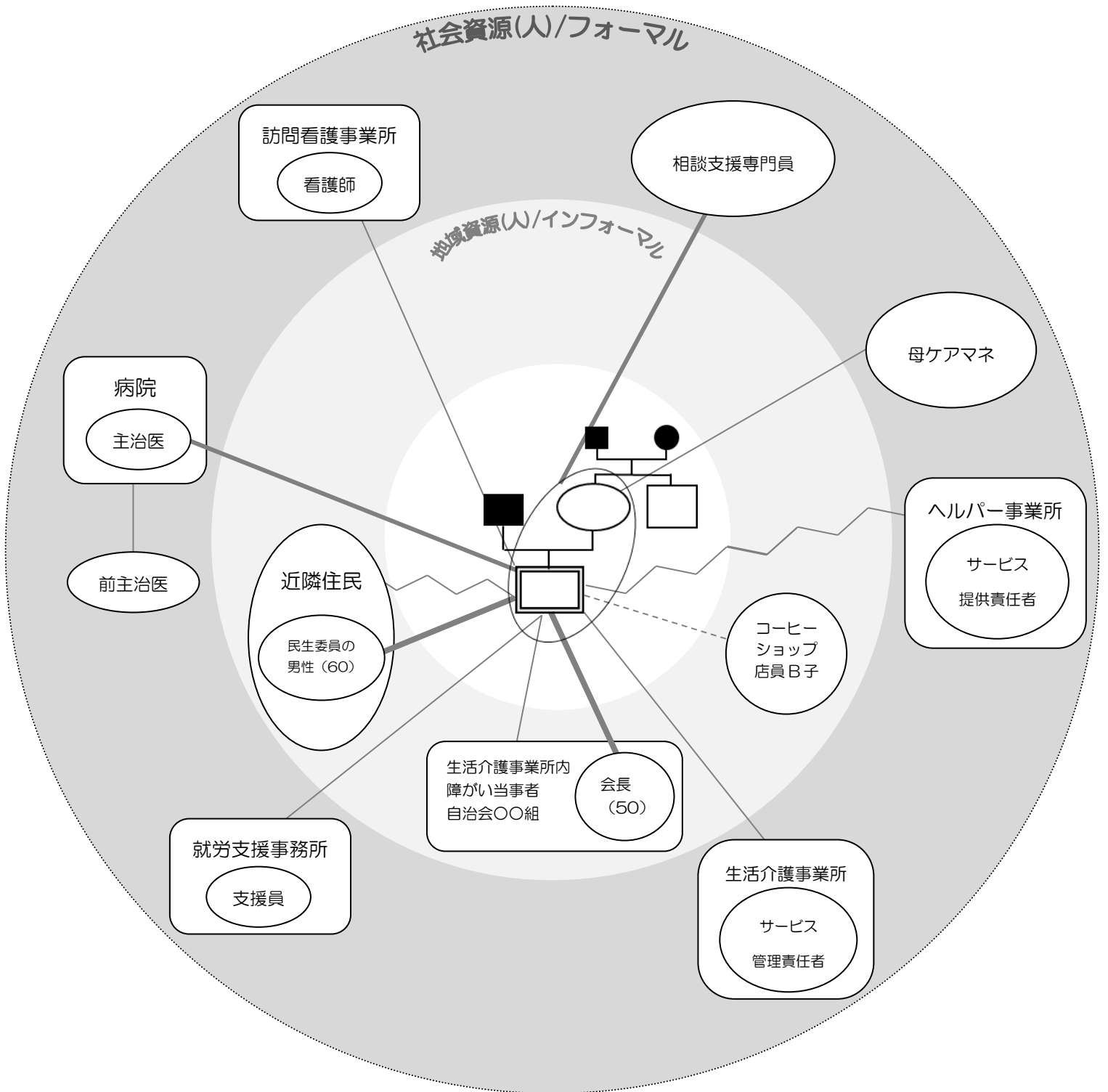
社会的状況(家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など)

- 利用者を取り巻く社会環境を理解する**
- ・生活環境、家族関係、家族以外の関係、余暇の過ごし方、嗜好などを記入する

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等) *複数可
②いつ頃から困ったことが生じたのか
③主訴に対して、様々な情報からあなたはどのように解釈したか(見立て)
④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか(支援経過)
⑤その結果改善されたか
(検討)意思決定支援の展開で気をつけること
(検討)検討課題に対して具体的な支援方法

エコマップ

記入例



<関係> 弱い ← → 強い

葛藤

事前課題（書式 2：ヒアリングシート）の記載について

1. 事前課題「地域変革のためのヒアリングシート」を記載する上で、記入例を参考にしながら記載願います。
2. 記載にあたっては、実際に支援している利用者 1 名（本研修で事例提供している利用者）を想定し、この利用者が地域とのつながりや、社会関係性等についてわかる範囲で記入してください。不明なところは記入する必要はありません。
3. この事前課題のシートは社会福祉士会が作成したものを使用しております。記載の多い、少ないが研修に影響することはありません。

日本社会福祉士会作成シート

書式 2（記入例）

地域変革のためのヒアリングシート（利用者から見た地域の状況）

【1】利用者が参加・所属している地域組織または参加したがっている組織について

組織の名前は？	地元の卓球クラブ
どの程度の「参加」か？	以前は週1回必ず参加していたが、就職してから辞めてしまった。
参加しやすい条件整備がなされているか？	好きな卓球ができることや、年配者の方から可愛がられていたので楽しく参加していた。
どういう条件が整えば、もっと参加しやすくなるか？	卓球をしたいという気持ちが芽生えれば参加するかもしれない。

<注>自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・
各種〈連続〉講座・ボランティアグループ

【2】利用者の交友相手〈友達〉について

どんな関係の人か	特別支援学校時代の友人。
利用者の資源になりうるか	学生時代は一緒に映画を観に行くこともあったが、今はお付き合いがない。
どうしたら資源になるか	久しぶりに会って話ができれば、以前のようなお付き合いができるかもしれない。

<注>井戸端会議の相手・同窓生・趣味友達・講座友達・級友・

【3】利用者が所属している当事者組織について

どんな組織に属しているか	〇〇就労継続支援B型事業所
--------------	---------------

利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	利用者自治会があり、生活のルールや利用者同士の関係のあり方等について話し合いをしている。
もっと機能するためには、どういう支援が必要か	話せる友人は数人いるが、遠慮しがちなところがあるため、仕事ばかりでなく、レクレーションを通して関係性が深められるよう支援する。
利用者はどんな役割を果たしたらいいか	事業所を利用する仲間として、楽しみを共有し、助け合う。
その組織は利用者にとってどんな意味があるか	母親の希望で就職を目指してきたが、就労することに強い抵抗を示していることが浮き彫りとなり、豊かな生活について考えるようになった。

【4】利用者に(福祉的に)関わっている人や組織・企業〈商店〉・隣人について

どんな関わりをしてくれているか	コンビニなどで買い物することができるが、母と一緒に出かけることが多い。
もっとすすんだ関わりをしてもらうには、どんな条件が整備されたらいいのか	社会性を広げるため、一人で自由に外出することができたらよい。
こちらとしてどんな努力をしたらいいか〈どんな仕掛けを施したらいいか〉	まずは一緒に外出して楽しみを共有し、興味関心を広げていく。

<注>行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい。

【5】利用者が見込んでいる相手〈相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人〉

行きつけの商店・診療所の医師・隣人について

その利用者が見込む相手はどのような条件があるのか	〇〇就労継続支援B型事業所の担当職員は、作業がうまくいかない時や困ったときに親身に相談に乗ってくれる。
利用者が見込んでいる人が、見込まれたことをきちんとしているか。	引込み思案などところがあるので、不安そうなときは担当職員から声掛けをしている。
していないとすれば、それはなぜか	自分のペースに合わせて、時に見守ることも必要。
見込まれたことをその人が実行するには、どのような働き掛けが必要なのか。	本人の内面の葛藤を理解し、言葉では表出されない気持ちを汲めるようにする。

<注>なぜその人を見込んでいるのか。

【6】利用者の親族で、利用者が頼みにしている相手について

その相手は、利用者の期待に添うように行動しているか	休日は母親と一緒に買い物に出かけることもあるが、時々うとうとすることもある。
していないとすればそれはなぜか	心配のあまり関与しすぎるところがある。
どうしたら期待に添うように行動するようになるか	本人が成長していることを理解できれば気が楽になるのではないかと。

他の親族はなぜ頼りにならないのか	以前はよく家族旅行に出かけていたが、最近本人が行きたがらなくなったので、父が寂しそうにしている。
どうしたらもっと頼りになる親族になるのか。	できることには口出しせず、任せるなど大人として認める。

【7】利用者の〈これから戻る〉近隣は、利用者にとっていい近隣か。

どのように頼りになるか	卓球クラブでは皆から可愛がられていたので、楽しく仕方がなかった。また、卓球が好きで石川佳純のファン。
どのように頼りにならないか	以前一緒に卓球をしていた人がいるかはわからない
どんな人材が存在しているか〈世話焼き・ロ利き・など〉	年配の方が一緒に練習してくれたり、休憩時間にたわいもないおしゃべりをするのが楽しかった。
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたらいいか	卓球クラブに参加するのもよいかと思うので、見学に誘おうかと思う。

【8】利用者の周囲で、活用できそうな地域資源はあるか。

どんな資源が分布しているか〈いわゆるボランティアや民生委員、福祉推進員だけでなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各種公共機関なども〉	〇〇就労継続支援B型のサービス管理責任者と連携し、作業以外のレクリエーションへの参加を通して興味関心を広げていきたい。
それぞれどんな資源性を持っているか	事業所の利用を通して、安心の中で人との付き合いや興味を広げ、社会とのつながりを増やしていくきっかけとなる。
それぞれ利用者にどんな資源になりうると思うか	豊かな生活が送れるようになる。
それらの資源を利用者に振り向けるにはどんな仕掛けが必要か	事業所内で卓球をすることができれば地域の卓球クラブとつながるかもしれない。
それぞれがより強力な資源になるには、どんな仕掛けが必要か	利用者にとって事業所が地域の接点となっていることを理解してもらえようとする。

【9】利用者にとって「隠れた資源」となっているもの〈利用者を元気にさせているもの〉について

あるとすればそれは何か	・卓球クラブ(参加している年配の方) ・特別支援学校時代の友人
-------------	------------------------------------

<注>特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目。

【10】利用者は地域に対して、どんな資源性を有しているか。

資源性とそれが機能している対象を羅列	卓球クラブ
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか	以前は卓球クラブに所属し、大会に出場することで、家族が応援に来ていた(喜んでいた)。
利用者が潜在的に有している資源性は何と何か	体を動かすこと、卓球をすること。

それぞれ誰に対して資源となりうるか	好きなことに取り組んでいる姿を見ると家族が安心する。
利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か	好きなことを増やしていけるよう、色々なことを体験してみる。

<注>隣人の相談相手、同じハンディを持った人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など。

【11】利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようか。お互い〈資源同士〉、その利用者に関わっていることをどの程度承知しているようであるか	現在は卓球クラブとのつながりはないが、辞める際にいつでも戻ってきていいよと言われた。
もったきちんとネットワークができるためにはどんな支援が必要か	卓球をやりたい気持ちがあるようなので、参加を急ぐのではなく、卓球のどこが好きかなど話を聞くことから始める。

【12】利用者の自宅〈居住場所〉は、

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか	駅まで歩いて10分程度であり、近隣には商店街がある。
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。〈利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など〉	色々なことを体験し、生活の幅を広げていく。家族は本人を認め、見守っていけるよう支える。

【13】利用者のセルフケアマネジメント能力〈自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等〉の評価をしてみよう。

セルフケアマネジメント能力の評価	控えめだが、自分の意思を伝えることができる。特別支援学校時代は卓球部に所属し全国大会に出場したほどの腕前である。
------------------	--

<注>人に好かれる〈人が寄って来る〉・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・だれにも気軽に助けを求めることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている。自分もお返しができる・自分の〈他人に〉できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かける・人を呼び込む場〈空間〉を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者〈秘書?〉を確保している

出典：中央法規(2020)『障害者相談支援従事者研修テキスト(現任研修編)』 p13-p16 を一部改編

書式3

ストレングス・アセスメント票

受講番号:	受講者氏名:
-------	--------

書き出し【●】本人の言葉

【○】家族等の言葉

【・】事実や行動(社会資源等)

A 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人:環境	B (未来の)希望:願望:熱望 何がしたいか:何がほしいか	C 過去の資源 どんなストレングスを使ってきたか
------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------

家・生活環境(住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)

・グループホームに入居
・電車やバスなどの利用ができる(スイカは不可)
●健康のため駅まで歩いてます(20分)
・最寄りのバス停までは5分
●休みの日には友人と外食や買い物、母のお見舞いには毎週行っています
○共有部分の掃除や自室の掃除は支援員さんと一緒に行く
・携帯電話を持っており、電話やメールを利用できる

●自分のテラスハウスで一人暮らしがしたい
●パソコンが欲しい
●旅行に行きたい(奈良)できれば、一人ではなく誰かと一緒に楽しみたい
●就労のために資格が欲しい
●歴史の勉強がしたい
●就労移行事業所に通って就職したい

・父と母と3人で暮らしていた
・全寮制の高校で半年生活をし、洗濯などやっていた
・家の事は全て母がやってくれていた
・バイクに乗っていた

経済状況

・年金と家賃収入で月20万円程度
・後見人が金管理をしてくれている(通帳管理と2週間分の生活費、必要に応じて手渡し) ・父が残してくれた預貯金がある
・母にも後見人がついている

●就労して貯金をふやしたい

●アルバイトで月10万円もらったことがある
●何か欲しいときは母がお金をくれた

日中活動(就労、教育、専門知識、通所、通学含む)

●就労継続支援B型事業所週5日通っています
●学生の時から歴史は好きで、今興味が強い

●就職するために就労移行事業所に通いたい
●自動車の免許が欲しい
●パソコンが使えるようになりたい
●歴史の勉強や考古学を学びたい
●母のお見舞いには毎週行きたい

●仕事をしていたことがある(老人ホームや工場、パン屋、など)
●一人旅(京都や奈良など)によく行った
●旅行の計画を立てるのも好きだった

社会的支援(家族、友人との関係、所属、サポートネットワーク、支援的人間関係)

●中学の時から友人と今も食事に行ったりしてます
・母は特養に入居中
●親類はいるが、連絡してません
●事業所にも仲の良い人がいます
●事業所の職員さんにはいろいろ相談してます
●後見人さんもよく来てくれます
●相談支援専門員さんが週に1回来てくれ、一緒にご飯を食べたりしています
●母の施設の職員さんとは仲いいです

●今関わってくれている人はこれからも大切にしたい
●旅行と一緒にしてくれるような友人が欲しい
●日本の歴史について学び、語り合いたい
●就労して、上司や部下といった関係を作ってみたい

●家族以外で信頼できるのは中学の時の△△君だけだった

健康状態(快適な状態、受診など医療を含む)

●成人病になっちゃいました(メタボ?)
 ・A病院(精神科)月1回
 ●歩くのが好きなので、健康のためにも歩くようにしています

●健康を維持したい

●今まで大きな病気はしたことがないが、高校生の時に急性腎炎といわれた

余暇活動(趣味、レクリエーション)

●天気の良い日には歩いています(2時間~3時間歩くこともある)
 ●母のお見舞いには必ず行ってます
 ●歴史の本や勉強をしてると楽しいです
 ●大河ドラマは勉強になりますよ
 ●横浜ベイスターズの試合は見えます

●旅行に行きたい
 ●歴史の勉強がしたい(日本の)
 ●バイクに乗れたら楽しいかな
 ●横浜ベイスターズが好きなので、野球を見に行きたい

●一人で神社や仏像などを見て回ってました
 ●家族で旅行(年に2回くらいは言っていた時もあった)が楽しくて仕方がなかった
 ●大河ドラマを欠かさず見ていた

Spirituality 文化 / 生きがい(大事にしていること、人生観、家族観、価値観)

●親や友人を大切にしている
 ●大器晩成という言葉が好き
 ●歴史は面白い

●母にしっかりとした姿(バリバリ働いて自立している姿)を見せたい
 ●歴史の勉強はずっと続けていきたい
 ●できれば人の役に立つ仕事がしたい
 ●自分も家族を持ちたい

●母の施設に行き、福祉や介護の人の大変さが分かり、一人では生きていけないと思った

わたしの希望・願望の優先順位は

1) テラスハウスで一人暮らししたい

2) 誰かと一緒に旅行に行きたい

3) 歴史の勉強がしたい

4)

追加コメント・わたしを理解するために大切なこと